

# 平成27年度 第2学年だより グリーン

3月の道徳で取り組んでいる「千川中を卒業する」ことに対して、中学2年である自分の過ごし方を見直しながら、あなたは何を考え、何を思うか」で、先週各クラスで班ごとに発表をしました。みんなで発表を聞き、その内容から投票で代表者を決めました。

今日の学年集会では、代表者の発表をみんなで聞きました。以下は、学年代表者の作文です。これらを参考に発表を思い直してください。そして、友達の発表から、自分の考えを広げ深め、来年度に向けての決意を固めてください。

## ～\*\*さん～

みなさんは卒業についてどう感じますか。心配ですか。不安ですか。私は未来の自分を想像すると期待で胸がいっぱいです。ですが、自分も卒業するという立場になれば、千川中を離れることは、辛く寂しいことです。私は今まで千川中の良いところをたくさん見つけてきました。千川中の先生方はとても優しく困ったときや分からないことがあるときは、すぐに教えてくださいます。私は千川中をふと思い出すと千川中の生徒の笑顔が浮かびます。それは、千川中の先生方が、生徒が笑顔になれるような学校の雰囲気づくりをしてくださっているおかげだと思っています。千川中の校訓には、明日に向かって全力をつくす人になろうという一文があります。三年生は義務教育が終了する最後の年です。一日一日を大切に、たくさん思い出をつくっていききたいです。そして、最高学年として、後輩の手本となれるように頑張りたいと思います。

## ～\*\*くん～

中学三年生になるのは苦痛でしかない。私たちも言われ続けてきたが、三年生を手本にとか、いろいろ模範にされるからだ。その他にも言うまでもなく勉強漬けの毎日だからだ。しかし中学三年生には必ずなる。辛い点を述べれば、きりがないと思う。でも逆に楽しみなこともある。知ってみたいこと、それは感謝の気持ちだ。私は日々感謝している。生活、生きているのは親のおかげだし、友達の手助けなどをしてくれ、先生方には勉強を教えてもらっている。けれど、答辞を聞いたかぎりでは、そんな軽い感謝ではないと思う。言葉では言い表せない感謝の気持ちと言っていた。はっきり言って理解できない。今では、でも卒業が近い三年生になら分かるのかもしれない。正直三年生にはなりたくない。でもならなきゃならない。それなら私は楽しいことを見つけない。そして言い表せない感謝を知りたい。

## ～\*\*くん～

僕は今年最上級生である三年生になります。そして、来年には進路を決めてこの千川中学校を卒業します。しかし、今のままでは、三年生になっても満足して卒業できないと思います。なぜなら今の二年生にはもうすぐ三年生になるという自覚があまりないからです。もうすぐ三年生になる最近でも、廊下を走ったり、教室内で暴れたりしている人がいます。さらにこのようなことが三年生になってからも続くと、後輩が真似するなどの悪影響になります。今までの三年生は卒業して、僕たちが三年生となって、今の一年生を引っ張っていく存在になります。しかし、僕たちが今まで先輩たちがつくりあげてきた、先輩が後輩の良い手本になるという、良い伝統が僕たちで途切れてしまうことになりました。だから、これからは最上級生になるという自覚をもって生活をしたいです。

## ～\*\*くん～

「千川中学校を卒業する。」それは、一人一人が自分の新しい未来へはばたいていくことだと思います。卒業生の方々の多くは、期待や不安を胸に、千川中学校を卒業していきます。そんな卒業式に、僕たちは来年、「主役」として出席することになります。しかし、今の緑学年の全員が来年度の卒業式の「主役」になることを、自覚できているのでしょうか。最近では、教室で暴れたり、廊下を走ったりして他の人に迷惑をかけている人がたくさんいます。このままでは後輩の手本となり、この千川中学校の看板を背負うことはできません。学校のルールを無視して、ふざけている人がいたら注意する。そうして互いを高め合うことができるのが三年生であると僕は思います。中学三年生になることは、誰にでもできることです。大切なのは、三年生になって何を学び、一人の人間としてどのように成長したかです。その準備のために、日ごろから自分の学校生活を見直しながら生活していききたいです。

## ～\*\*さん～

千川中学校を卒業する日は、いつか必ず訪れる。その日を後悔なく笑顔で迎えることができるかは、残り一年となった中学校生活をどう過ごすかにかかっている。私は、この一年間を有意義に、そして楽しみながら過ごしていきたい。最高学年になると、今まで以上に忙しい生活になるだろう。進路を決定し、その夢に向かって努力しなければならない。それは辛くて大変なことだと思う。でも、私はあきらめずに自分を信じて臨んでいきたい。そうすればその先にどんな結果が待っていても、やりきったという思いでいっぱいになるだろう。また、勉強だけでなく部活動にも一生懸命に取り組んでいこうと思う。夏休みには、千川中の代表として出場する最後のコンクールがある。悔いのないように努力を重ね、思い出に残る演奏を全員でつくりあげていきたい。中学校を卒業することは、義務教育の終了を意味する。社会に出たときに、自分の両足だけでしっかりと立てるよう、残りの一年間を大切にしようと思う。そして、私の思い出のアルバムを色鮮やかに飾っていききたい。

## ～\*\*さん～

私たちが卒業するまで残り約一年です、しかし、その一年はきっとあっという間に過ぎていくでしょう。中学二年生は学校にも慣れて、受験にも追われないので、中学校の中で一番楽しい時期だと思います。実際に私も部活の仲間や友達と楽しい日々を過ごしました。しかし、勉強の方は自分の成績があがったとは言えない結果でした。中学三年生になると受験が私たちのことを待っています。このまま楽しいだけの三年間で終わらせたくありません。だから私は中学三年生でも友達との関係や行事を大切に、決して忘れられない思い出にします。それと同時にテストでも受験でも精いっぱい励み、努力します。私の目標が中学生としての最後の一年を我慢も後悔もしない良い一年にすることに決めます。そして一年後に笑顔で千川中学校を卒業できるように大切に毎日を過ごします。

## ～\*\*さん～

“千川中学校を卒業する”それは一つの終わりでもあり、始まりでもある。義務教育が終わる。小学校から中学校までの義務教育の中で、私たちは多くのことを学んできた。中学校に入学した時はまだ二年もあった。しかし中二の今では残り一年しかないのだ。その一年間の中で、楽しく、かつ有意義に過ごすことこそが私たちに与えられた「義務」なのではないだろうか。そして、終わりと同時に始まりがやってくる。自分の未来を自分で決めることだ。それはとても難しい。大きく言ってしまうと、その選択で人生が決まるのだ。今の私にはまず困難だろう。だからこそ、残り少ない千川中での一年を大切にしたい。ここには、たくさんの友達や先生方がいる。家には、私たちを見守ってくれる両親がいる。こんなにもたくさんの人に支えてもらい、今日も私たちは卒業に向けて一日一日、確実に進んでいる。私たちに課せられた義務と、私たちに託された未来。その両方を胸に、千川中学校で悔いのない生活を送りたい。

## ～\*\*さん～

千川中学校から卒業。私はこの卒業するというのを、軽い気持ちで考えていました。まだ一年もある。そのような考えでした。しかし、先輩の答辞を読み、この考えはもう甘いなと思いました。まだ一年もある。いや、もう一年しかないのです。私たちは、先輩方の卒業式を終えたあと、千川中の最高学年となりますが、このままで本当に良い最高学年になれるのでしょうか。この一年を振り返ってみると良いことばかりではなかったと思います。様々な行事で協力したり、助け合ったりしましたが、中にはルールを守れなかった人もいました。これはもう三年生では通用しないでしょう。しかし、悪いところは振り返り、考え直すことで良い方向に進んでいくと思います。卒業まであと一年。二年生でできなかったことを三年生でできるように、二年生で上手くいったことは三年生でもっと上手くいくように。この学年で協力し合い、これからの一日一日を過ごしていきたいと思います。

## ～\*\*さん～

「千川中学校を卒業する」ということ。それは、九年間にわたる義務教育を終え、自分で決めた新しい道を歩んでいくことだと思う。現在私たちは、中学二年生である。二年前の春に入学し、一年後には卒業式を迎えている。私たちの中には入学してから今日までの二年間を、あっという間と感じた人もいれば、長いと感じた人もいるだろう。感じ方は人それぞれだが、私はこの二年間はあっという間だったと思う。そのように感じたのは、私はこの二年間を充実したものにできたからだと考える。その理由は、例えば勉強でも部活でも真剣に取り組み、充実したものにしていれば時間が経つのを早く感じる。だが反対に、やる気がなかったりして、「早く終わらないかな」と時間ばかりを気にしては、時間はなかなか進まないと感じるからだ。「千川中学校を卒業する」まで、残り一年。その一年をどう過ごし、どんなものにするかは私たち次第である。私は、義務教育の終了を飾る最後の一年を充実したものにしたい。そのために私は、部活、学校行事、受験、全てにおいて、真剣に取り組み、自分の納得いく一年にしたいと思う。また、義務教育最後の一年間にたくさんの思い出をつめてきたい。

## ～\*\*くん～

「卒業式」がもう来年に迫っていると先生が話していたとき、僕はふと疑問に思った。なぜ「もう」なのだろうか。なぜなら僕の考えでは一年もあるからだった。一年生のとき、僕は一年間の反省で今年できなかったことは来年やればいいじゃないかと思っていた。二年生になってもそれは変わらなかった。なぜなら最高学年となってもその度、自分の悪いところを直せばいいと思っていたからだ。しかしある日の道徳の授業でそれが変わった。授業中にある年の卒業生の答辞を読んだからだ。先輩方の答辞を読むと、今までの余裕が焦りに変わった。自分たちと比べると、どう考えても有意義に中学校生活を送ったのだろうと、感じさせる内容だったからだ。そこで自分の今までの反省をしてみると、大きな欠点が浮かび上がった。それは、「反省を口にだけにして、行動に表さない」というところである。それは来年度最高学年になる僕にとって致命的な欠点だと考える。卒業までは、一年しかない。だから、僕は「卒業式までに直す」ではなく、「普段の生活から改めていく」ということを三年生の目標、義務として、卒業に向けての一年を過ごす。

## ～\*\*さん～

まだまだ先のことだと思っていたのに、三年生になる、ということがすぐそこまでやってきてしまいました。もうすぐ私たちを引っぱってきてくれた先輩方は卒業してしまいます。そのあとすぐに始業式がやってきて、私たちは三年生になります。きっとまだ自覚のない人が多いでしょう。三年生になると、今よりも代表の仕事や、一人一人の仕事が増えてきます。委員会などに入らなかった人も、部活では一番上の先輩になるし、絶対に全員が立ち向かわなければいけないのが受験です。進路に迷っている人も、まだ決めてない人も、三年生になったら自分の進路を決めなければなりません。けれど、「三年生になったら」は「まだ先のこと」ではなくなくなってしまいました。正直に言ってしまうと、不安なことばかりで、進路のことを考えるだけでなんだか嫌な気分になります。けれど、それではいけないのです。嫌でも進まなければなりません。だからこそ、今が大切なのではとおもいました。残り少ない三年生までの時間を有効に使っていくことの一つとして、春休みがあります。春休みは「三年ゼロ学期」と言われるくらい大事なものです。その短い期間も無駄にしまわぬようにしたいです。「卒業する」ということを考えて、今までの自分の振り返りや、三年生になるということの自覚を強く持つことができました。この気持ちを忘れないようにしたいです。

## ～\*\*くん～

私は、我々日本人が日々の生活において、あたりまえに行っていることをあたりまえだと、勘違いしているのではないかと考える。こうして毎日学校に通えている、通わせてもらっている、これは果たして本当に当たり前なのだろうか。ましてや毎日帰る家があり、食べるものがあり、五体満足で生まれてきたことは、本当に当たり前なのだろうか。世界には、様々な貧困地域、または人々がたくさんいる。毎日が不安定な生活で学校どころか、食べ物すらままならないのが現実である。つまり、私たちが日々当たり前と思って行っていることは当たり前ではないのである。我々はこのことに対しての認識が甘く、日々の生活への感謝を忘れている。これからはもっと感謝をし、自分が出れる範囲での貢献をしていかねばならないと私は考える。そして、全ての人々が当たり前日々の生活を送れるような世界をつくっていききたい。

## ～\*\*さん～

私が千川中学校を卒業するときは、悔いなく、たくさんの思い出を胸に笑顔で卒業式を迎えたいです。そのためには、今の自分を変えなければなりません。一つ目は学習面です。私は今、勉強があまり追いつくことができません。このまま三年生を迎えてしまったら、受験には失敗すると思います。また、今現在行ってみたい高校など自分の進路にもきちんと向き合えていない状態です。私は三年生になる、あと数週間、そして春休みや夏休みなどを利用して、もう一度、自分を見つめ直し、両親や先生方と話し合い自分に合った進路を見つけていきたいです。また、テストに対しても真剣に取り組みでいきたいです。テスト前はもちろん、日ごろから予習、復習をしていきたいです。そして今までの反省点を生かしてより良い成績を残していきたいです。二つ目は生活面に関してです。私は今まで生活面に対してはあまり気をつけていませんでした。しかし、三年生になると一、二年生の見本。そして、中学校の最高学年として、自覚をし、責任をもって行動しなければなりません。今の私は、忘れ物が多い。チャイム着席ができていない。など基本的なことまでできていません。これでは一、二年生の手本になるどころか、悪い影響を与えてしまいます。このようなことにならないために常に意識を高めていきたいです。また、委員会、部活動などで「すごいな。」と思われる先輩になりたいです。私は今までを振り返ってみて、このままでは三年生になれないと強く思いました。しかしその反面、今までの失敗を生かしていきたいと思いました。これからは常に受験・進路・後輩のお手本になることなど意識していこうと思います。そして、悔いなく笑顔で千川中学校を卒業したいです。